

受けつがれる伝統。新たなふるさととの再発見。
夏を彩るさまざまな祭りや行事。
'86年の熱い夏を、くまもと各地に拾ってみました。
あなたの町や村はいかがでしたか？

今年も燃えた火の国の火の祭り。

くまもと夏の
三天火まつり

- ◆火の国まつり(熊本市)
- ◆古墳祭(菊水町)
- ◆山鹿灯籠まつり(山鹿市)

暑い熊本の夏を彩る「くまもと夏の三天火まつり」が、八月十日夜、グリーンピクニック会場で行われたオーピングページェントを皮切りに、十一日から六日間にわたって繰り広げられた。「おてもやん総おどり」「タイムツ行列」「千人灯ろうおどり」をメインに、それぞれの祭りの味わいも年毎に深められている。

火の国まつり



山鹿灯籠



古墳祭り



万人の人出で、国際色豊かに
第十回国際親善
大阿蘇全国風あげ大会

豊三十畳大もある大だこ、ハレ一すい星だこ、六角だこ、ムカデだこ...など全国はもとより韓国の珍しい伝統だこも参加し、七月二十七日阿蘇山上人工スキー場一帯で行われた。県内で学ぶ外国人留学生四十人を招待しての国際たこ合戦もあり、山上は一人の人出でにぎわった。



'86デイスカバー人吉・球磨

球磨川の一部を仕切ったの鮎つかみどり。メインステージでは郷土芸能・音楽ショーの数々。「ふるさとストリート」や「味のpromenade」も。
八月一日から三日間催された大型観光イベント。汽車・バスのツアー参加者もふくめ、延べ五万人の人出で、新しい人吉の夏が燃えた。



「天草灘フカ狩り」

江戸時代から伝わる、全国でも珍しい漁法(生け捕り)によるフカ狩りが八月二日、十三年ぶりに復活。二百六十年の伝統漁法の復活「継承」を合言葉に行われたこの催し、約一万人の観光客を集め、天草の記念すべき年にふさわしいスケールの大きなロマンあふれるイベントとなった。

